

平成 3 0 年度 第 1 回学校関係者評価報告書

鳥取県立境港総合技術高等学校

学校長 小 澤 敏 正

評 価 日		平成 3 0 年 6 月 2 8 日 (水)			
委 員	氏 名	年齢	性別	資格・所属等	委員長
	木 村 一 也	5 8	男	境港市立第二中学校長	○
	阿 部 泰 典	6 6	男	境港市余子公民館長	
	早 川 博 美	5 9	女	あまりこ保育園長	
	小 澁 由 夏	5 0	女	元 P T A 副会長	
評 価 ・ 提 言					学校の所見・改善策等
<p><b>1. 前年度の最終評価について</b></p> <p>①前年度評価を踏まえた、今年度の取組に期待したい。 ②学校課題の解決に向けて、各取組を一層充実させて欲しい。</p> <p><b>2. 前年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</b></p> <p>①科の連携による取組は学校の一体化を図る意味でも評価できる。総合技術フェアの取組は大変良い。 ②課題研究発表会は、科によって取組に力の差があると感じた。指導を工夫するなど対策を立てて欲しい。 ③なかよしフェスティバルは生徒が生き生きと取り組んでいる様子が見られた。このような取組は学校の強みだと思う。</p> <p><b>3. 今年度の評価計画について</b></p> <p><b>(1) 目標設定について</b></p> <p>①基本的な生活習慣や人間関係を円滑に構築するには、挨拶が重要である。挨拶が身につけていないと職場でも苦勞する。意欲的・主体的に挨拶ができること、不快に思われない身だしなみ、そして、人の話をしっかり聞ける人材を育成して欲しい。 ②学科間連携の取組は非常に良い。継続して推進・充実を図って欲しい。</p> <p><b>(2) 目標達成のための取組について</b></p> <p>①他の学校では学習できない授業や実習が多くあり、その強みを活かした資格取得の取組や他では学べない技術力、実践力を身につけさせて欲しい。 ②ホームページをはじめ、情報発信を継続的にお願いしたい。地域に学校の特色が十分に理解されていない面もあると思う。</p> <p><b>(3) 評価基準及び評価指標について</b></p> <p>①学校自己評価の評価基準は適正である。</p> <p><b>4. 学校運営や予算等に関する提言</b></p> <p>①地域の子どもの人材育成に参画する取組は評価できる。今後も幼保小中学校との連携を継続して欲しい。 ②施設実習以外であっても来所するときには、適切な身だしなみを整えるなど、子どもたちの憧れる、手本となるような社会性を身につけさせて欲しい。 ③ハッピーにケイタイを使うための「境総合 6ヶ条」「スマホリデー」など、生徒が主体となる取組はとても評価できる。</p>					<p>①②基本的な生活習慣の確立、基礎学力の向上、社会性や豊かな心の育成を柱に取組を強化する。</p> <p>①②③総合技術フェアを始め、県版 S P H 事業等により、科連携を充実させ、地域と連携し地域に貢献する人材育成を図る。 ②研究内容、研究方法、発表方法等の指導の徹底を図る。</p> <p>①学校教育全体を通して、社会規範の育成、心を育む教育の一層の充実を図る。 ②県版 S P H 事業を一層推進する。</p> <p>①早期の資格取得を促進するとともに、より高度な資格取得に挑戦する人材を育成する。 ②報道機関への情報提供や、タイムリーにホームページに情報を掲載し情報発信に努める。 ①評価目標達成に向け取組の充実を図る。</p> <p>①人間性や人格形成に良い効果をもたらす取組であり、継続したい。 ②自尊感情を醸成し、社会規範の身についた自律した人材育成を図っていききたい。 ③生徒の主体的な活動を推進し、学校の活性化を図る。</p>